

HDS025-02

会場:103

時間:5月22日 09:45-10:00

ALOS データによるブータン・ヒマラヤの氷河湖インベントリー公開に向けて Free Public Access on Glacier Lake Inventory in the Bhutan-Himalayas using ALOS Data

奈良間 千之^{1*}, 田殿 武雄², 浮田 甚郎³, 山之口 勤⁴, 河本 佐知⁴, 富山 信弘⁴, 矢吹 裕伯⁵, 藤田 耕史⁶, 西村 浩一⁶
Chiyuki Narama^{1*}, Takeo Tadono², Jinro Ukita³, Tsutomu Yamanokuchi⁴, Sachi Kawamoto⁴, Nobuhiro Tomiyama⁴, Hironori
Yabuki⁵, Koji Fujita⁶, Kouichi Nishimura⁶

¹ 総合地球環境学研究所, ² 宇宙航空研究開発機構, ³ 新潟大学, ⁴ リモートセンシング技術センター, ⁵ 海洋研究開発機構, ⁶ 名古屋大学

¹RIHN, ²JAXA, ³Niigata Univ., ⁴RESTEC, ⁵JAMSTEC, ⁶Nagoya Univ.

2009年度～2011年度にかけてのJICA/JSTプロジェクトの「ブータン・ヒマラヤにおける氷河湖決壊洪水に関する研究」において、私たちはブータン・ヒマラヤの氷河湖インベントリーの作成を開始した。ヒマラヤ地域では、10年に1～2回の割合で氷河湖決壊洪水（GLOF）が起きており、氷河湖の分布と基本情報を記した氷河湖インベントリーの作成と公開は、地元の人々の認知度の高まり、関係者のGLOF対策、世界の研究者の氷河湖研究に役立つ。

衛星班を中心とする研究メンバーは、ALOSのPRISM（解像度2.5m）とAVNIR-2（解像度10m）から作成したパンシャープン画像を用いてマニュアルで氷河湖を抽出した。抽出する氷河湖は、「氷河の前面から小氷期モレーンの間、および同モレーンの下流側2km以内の0.01km²以上の氷河湖」とした。現在までにブータン全域で129のパンシャープン画像を作成した。ブータン全域の8つの流域の抽出状況を見ると、68の画像を用いた氷河湖抽出が終了しており、全体で600～700の氷河湖のうち400の氷河湖の抽出を終えた。しかしながら、多くの画像は雲で覆われており、すべての氷河湖の抽出が終了した流域はまだない。現在、3月の氷河湖インベントリー・サンプルのWEB上公開に向けて、Mangde Chu谷を対象にAVNIR-2で抽出できていない氷河湖を補完し、氷河湖ID、衛星パス、撮影日、緯度、経度、流域名、面積、長さ、幅、高度、方位、氷河湖タイプ、ICIMOD IDの情報を入れた氷河湖ポリゴンを公開予定である。本発表では、氷河湖インベントリーの内容と3月に公開したインベントリーのサンプルについて報告する。

キーワード: 氷河湖, 台帳, ALOS, 氷河湖決壊洪水, ブータン・ヒマラヤ

Keywords: Glacier lake, Inventory, ALOS, GLOF, Bhutan-Himalayas